

2025年3月期 第2四半期

決算補足説明資料

2024年11月11日

証券コード:3741

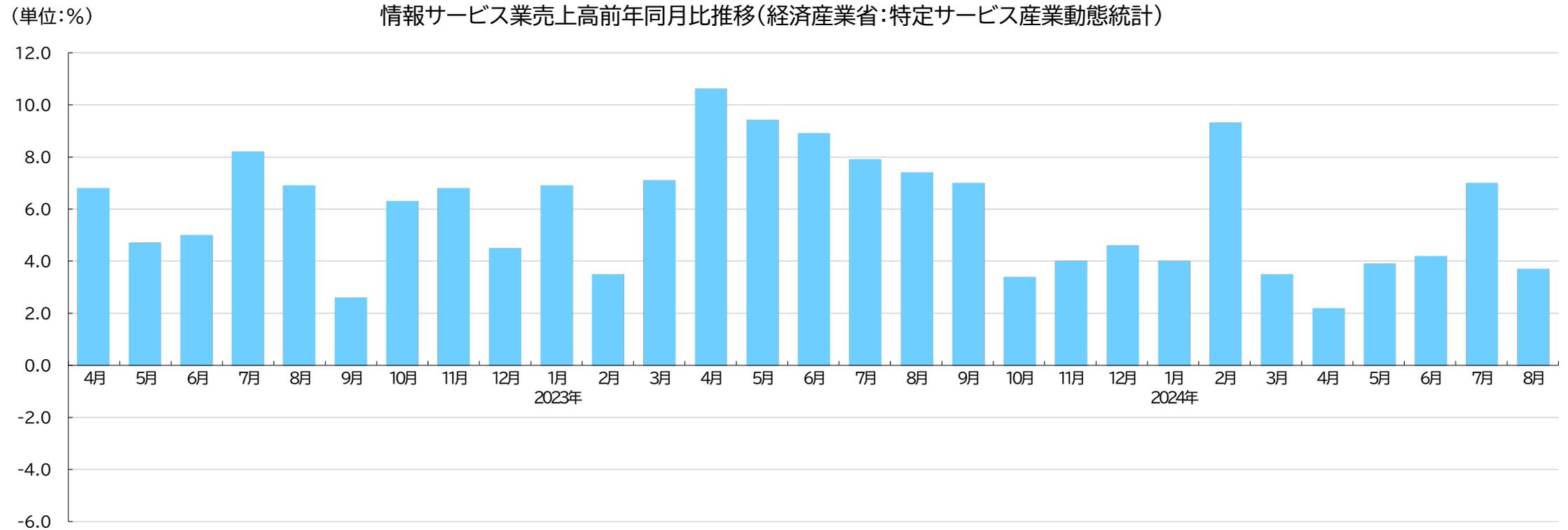


2025年3月期 第2四半期

決算概要

事業環境

2023年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察される



2025年3月期第2四半期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、
前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前年同期比	利益率
売上高	4,495	114.8%	
営業利益	764	120.7%	17.0%
経常利益	809	121.8%	18.0%
当期純利益	566	122.2%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前年同期比
受注高	5,892	142.1%
受注残高	7,166	179.5%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

官公庁向けの開発が引き続き好調であり、医療分野や防衛分野の開発も増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前年同期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

第2四半期損益計算書

	2024年3月期第2四半期 (百万円)	2025年3月期第2四半期 (百万円)	前年同期比 (%)	期初予想 (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	3,915	4,495	114.8	4,150	108.3
売上原価	2,751	3,103	112.8	2,820	110.1
売上総利益	1,163	1,391	119.6	1,330	104.6
販売管理費	530	627	118.3	680	92.3
営業利益 (営業利益率)	633 (16.2%)	764 (17.0%)	120.7	650 (15.7%)	117.5
経常利益 (経常利益率)	664 (17.0%)	809 (18.0%)	121.8	690 (16.6%)	117.3
当期純利益	463	566	122.2	480	118.0

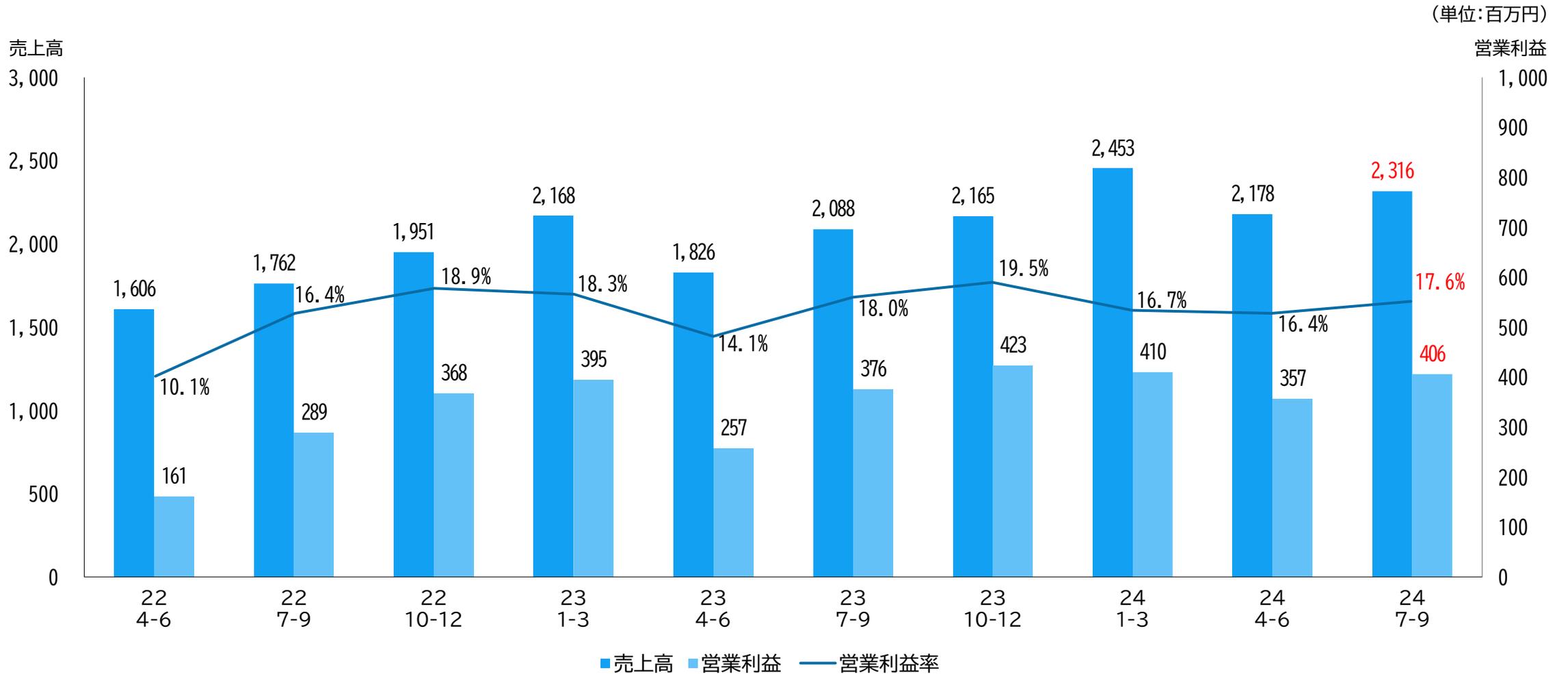
売上原価 外注費が大幅に増加（外注費 16.1億円、前年同期比23.9%増／売上高外注比率36.0%、前年同期比2.6%増）

販売管理費 新入社員の増加などにより労務費が増加、研究開発費は61百万円で、前年同期比で110.2%増

営業外損益 研究開発の補助金収入が増加（15百万円、前年同期比296.2%増）

四半期業績推移(PL)

2021年度第3四半期から、12四半期連続の前年同四半期比増収増益

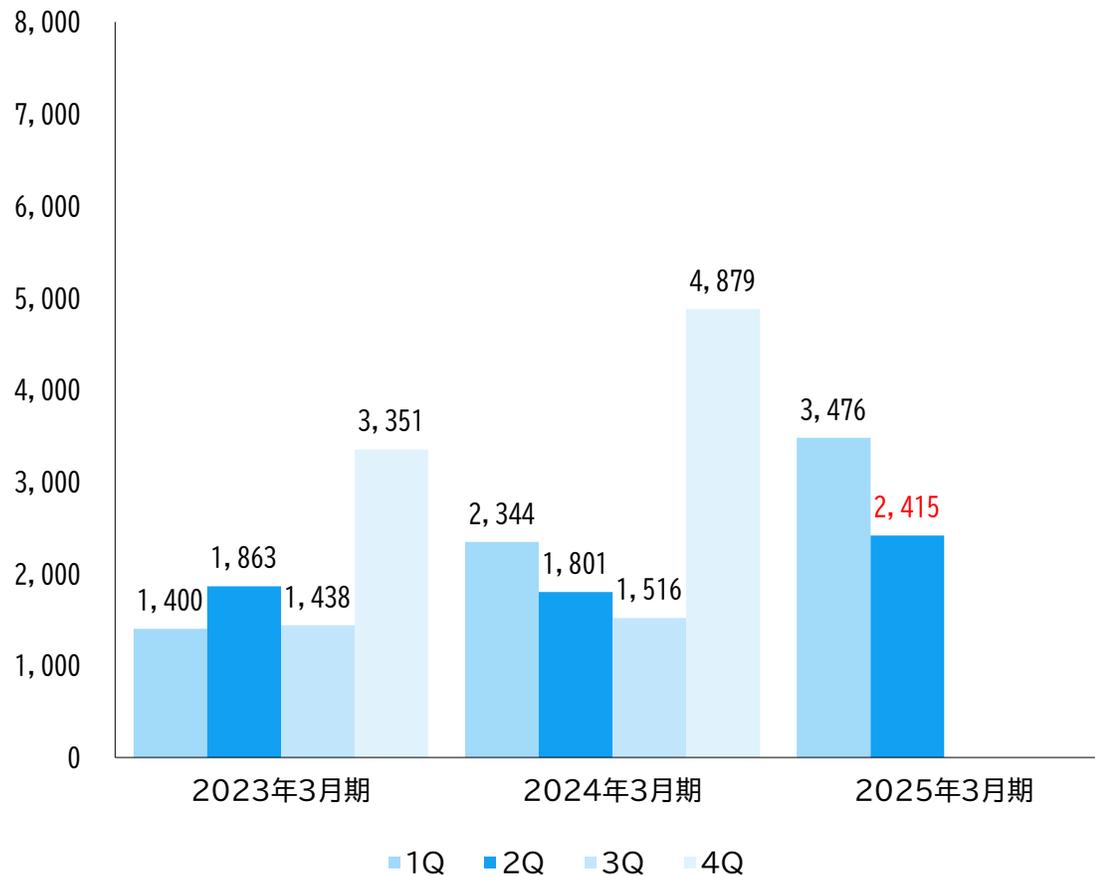


四半期業績推移(受注状況)

受注高、受注残高ともに過去最高

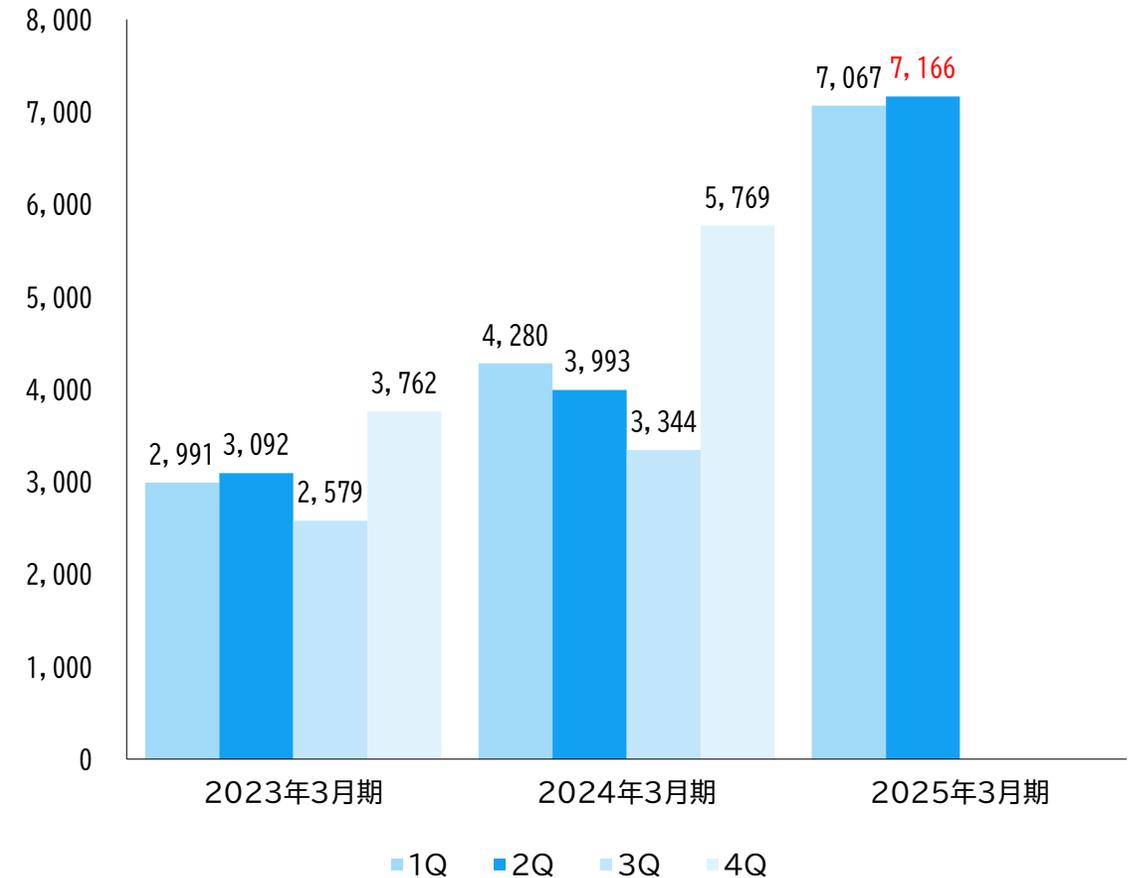
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



第2四半期BF別の状況

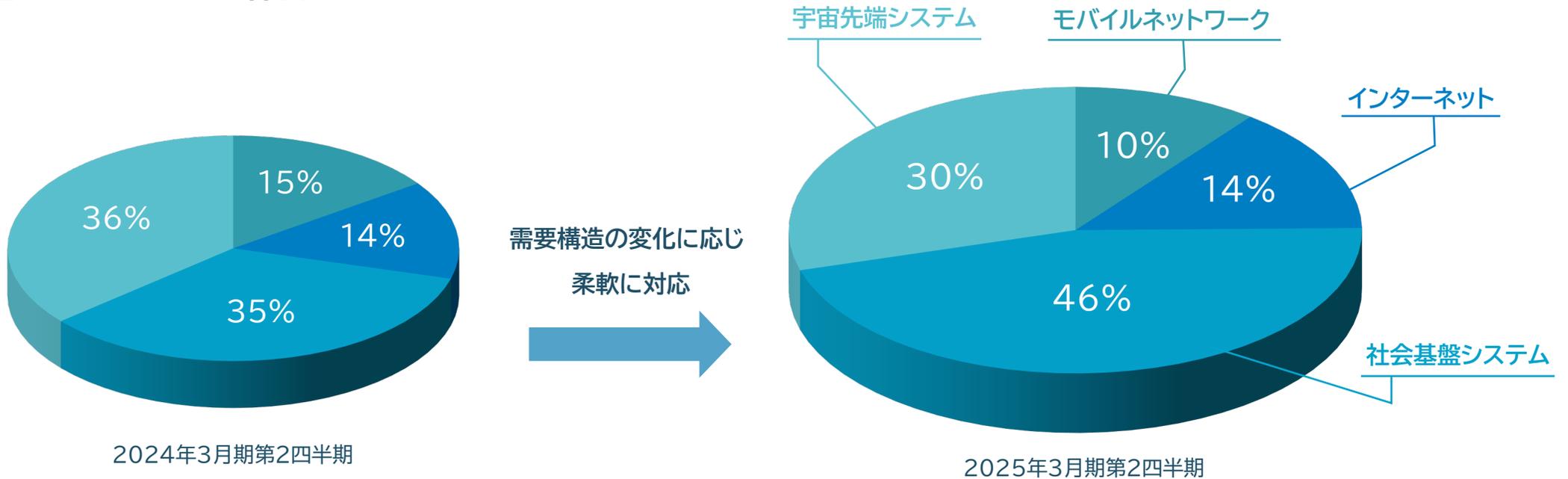
社会基盤システムBF、インターネットBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期第2四半期		2025年3月期第2四半期		前年同期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	596	15.2	470	10.5	78.9
インターネット	552	14.1	642	14.3	116.3
社会基盤システム	1,349	34.5	2,055	45.7	152.3
宇宙先端システム	1,416	36.2	1,326	29.5	93.7
合計	3,915	100.0	4,495	100.0	114.8

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少
- インターネットBFは、民間企業向けのDX関連の開発が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が増加したものの、前期のサービスロボット関連の大型案件の反動により減少

第2四半期BF別売上構成比

社会基盤システムBFが増加



モバイルネットワークBF

スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少

インターネットBF

民間企業向けのDX関連の開発が増加したが、全体構成比では変動なし

社会基盤システムBF

環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も増加

宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件が増加したものの、前期のサービスロボット関連の大型案件の反動により減少

第2四半期BF別受注状況

医療分野の大型長期案件の受注により、社会基盤システムBFの受注高と受注残高が大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期第2四半期		2025年3月期第2四半期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	640	329	478	74.8	242	73.7
インターネット	634	324	679	107.1	359	110.7
社会基盤システム	1,345	2,614	3,307	245.9	5,576	213.3
宇宙先端システム	1,526	725	1,426	93.5	987	136.2
合計	4,145	3,993	5,892	142.1	7,166	179.5

※ 受注残高のうち、今期売上貢献分は4,296百万円(前年同期比44.6%増)、来期以降売上貢献分は2,869百万円(前年同期比180.8%増)

- モバイルネットワークBFは、XR(クロスリアリティ)サービス関連の受注が減少
- インターネットBFは、民間企業向けのDX関連の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの受注が増加、また、医療分野や防衛分野の受注が大幅に増加
- 宇宙先端システムBFは、前年同期のサービスロボット関連の受注大幅増の反動で減少

2025年3月期

通期業績見通し

2025年3月期業績見通し

売上高、利益面ともに計画を上回る見込みであるため、業績見通しを上方修正

	2024年3月期実績(百万円)	2025年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	8,534	9,550	111.9
売上原価	5,983	6,680	111.6
売上総利益	2,550	2,870	112.5
販売管理費	1,083	1,190	109.8
営業利益 (営業利益率)	1,467 (17.2%)	1,680 (17.6%)	114.5
経常利益 (経常利益率)	1,547 (18.1%)	1,770 (18.5%)	114.3
当期純利益	1,105	1,230	111.3

売上高 官公庁向けの開発が好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も大幅に増加し、前期比約12%増を見込む

売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む

販売管理費 新入社員の増加などによる労務費の増加、研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 研究開発の補助金収入の増加などにより、増加を見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

2025年3月期BF別業績見通し

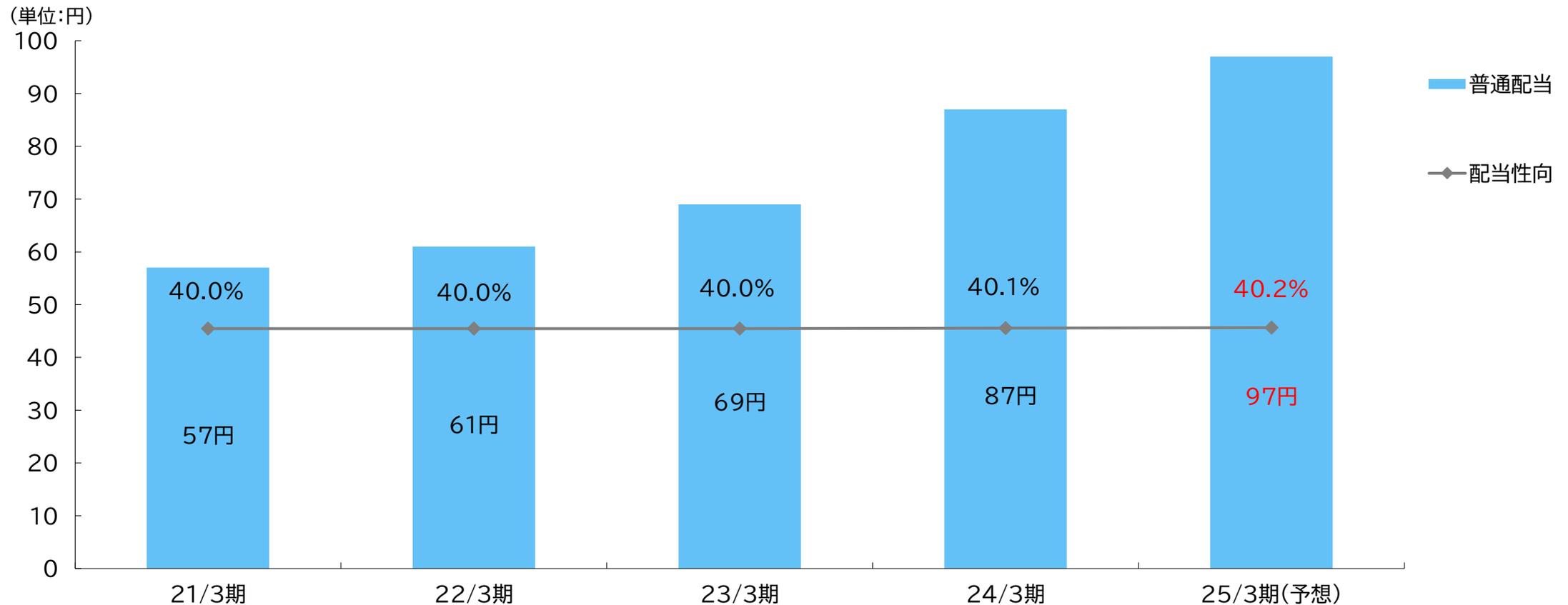
社会基盤システムBF、インターネットBFが想定を上回る増加幅となる見込み

ビジネス フィールド	期初の想定	予想	第2四半期状況判断	予想
モバイル ネットワーク	スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少し、微減	➡	スマートコンストラクション関連の開発が堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が想定以上に減少し、下回る展開	➡
インターネット	民間企業向けのDX案件が継続するものの、他のBFとの人員配分の最適化により、前期並み	➡	民間企業向けのDX関連の開発が増加し、増加を見込む	➡
社会基盤 システム	環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、増加	➡	環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が好調であることに加え、医療分野の大型案件や防衛分野の開発が増加し、想定を上回る展開	↗
宇宙先端 システム	サービスロボット関連の研究開発案件や宇宙関連の開発が堅調に推移し、増加	➡	前期のサービスロボット関連の大型案件の反動があるものの、車両自動走行の研究開発案件が増加し、微増を見込む	➡

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2025年3月期は、業績見通しの上方修正に伴い、配当予想を期初予想の1株当たり90円から97円に修正。



ご参考: ニュースリリース一覧(2024年4月~2024年10月)

2024年			
4月 9日	<u>令和6年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(理解増進部門)」を受賞</u>	7月30日	<u>当社が支援しているアストロスケールの商業デブリ除去実証衛星「ADRAS-J」が世界で初めてデブリの周囲の飛行に成功</u>
4月30日	<u>日経CNBC「トップに聞く」に代表取締役社長 櫻井が出演</u>	8月13日	<u>変形型月面ロボットLEV-2(愛称:SORA-Q)開発における貢献が評価され、JAXAより感謝状を贈呈</u>
5月13日	<u>第41回 ロボット工学とオートメーションに関する国際会議(ICRA 2024)出展</u>	9月 6日	<u>「2024年度 第2期 世田谷ITカレッジ」を開講</u>
5月16日	<u>イベント「宇宙への挑戦」開催(2024年6月6日開催)</u>	9月 9日	<u>群馬県主催「IoT・AI活用人材育成講座」を実施</u>
5月23日	<u>日本地球惑星科学連合2024年大会にて「時空間データGISプラットフォーム」に関する口頭発表</u>	9月28日	<u>ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(大阪)にて企業IRセミナーを開催</u>
6月13日	<u>ラジオNIKKEI「ザ・マネー」に代表取締役社長 櫻井が出演</u>	10月15日	<u>大阪大学量子情報・量子生命研究センターとセック、量子プログラムを高速化するマルチプログラミング機能を開発</u>
6月17日	<u>【共同研究】大阪大学の量子コンピュータ・クラウドサービスで動作する、量子計算と古典計算の協調処理を高速化する機能を開発</u>	10月21日	<u>XR・メタバース総合展に出展</u>
7月 1日	<u>「2024年度 第1期 世田谷ITカレッジ」開講</u>	10月25日	<u>当社が開発・デザインに協力した旺文社の教育アプリ「受験生のための英検®カコモン」がグッドデザイン賞を受賞</u>
7月17日	<u>「楽しみながら宇宙を体験できる宇宙フェス」に協力(2024年7月20日開催)</u>	10月29日	<u>第68回宇宙科学技術連合講演会にて宇宙ロボティクス技術に関する論文を発表</u>

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましてはいかなる保証を行うものでもなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。